

1 研究主題

実践的な研修の場を設け、日ごろの指導力の向上を図る。

2 研究の概要

(1) 日 時 8月7日（木）13時00分～15時00分

(2) 会 場 金井小学校

(3) 指導者 上越教育大学

松本 健義 様

(4) 内 容

① 絵の描かせ方

② 学年に応じた鑑賞のさせ方

3 研究の実際

① 絵の描かせ方

実際に持ち寄った作品を鑑賞しながら、研修を行った。絵の描かせ方については、思いを広げてやる声かけをしていくとよいこと、絵は描かせているときの状況で変わってくるので、似てくる場合はグループを変えるなどするとまた絵が違ってくることが、教えていただいた。また描かれた絵については、絵をていねいに読み取る、共感して試みるのが大事で、子どもの思いにどう寄り添うかを大切にしていこうとよいことを教えていただいた。一人一人の見方、感じ方を大事にしていくことの大切さを学ぶことができた。



② 学年に応じた鑑賞のさせ方

鑑賞では、作品のいわゆる「よい」ところを単に見つけるのではなく、

- ・友達の見方や感じ方を絵を通して聴く。
- ・私にはこう感じると絵を通して話す。
- ・私に見えること、私が感じることを話す。

ことで、相互のさらなる学びがあるということ、実際の授業の様子を見ながら、講義していただいた。絵を評価するのではなく、絵をかくことを通して成長していこうとする子どもの思いをその場で共に感じるようにしていこうとよいことを教えていただいた。対話による鑑賞活動が大事だということを学ぶことができた。



4 成果と課題

描いているのは子どもであり、「その子が見える」ことが大事だということをご講義いただいた。

学年によっても、題材によっても指導の悩みは尽きない。今後も会員の日頃の指導・実践に活かせるよう、研修を積み重ねていきたい。